

個人山行報告書

通算山行NO	NO. 1393	報告者	後藤隆徳
年月日	2009年01月10(日)	2万5千	御岳山・御岳高原
山名	御岳山(3067m) 飯森ルート		原
体力度=4・やや厳しい 技術度=3・普通 道標=ない 駐車場=あり トイレ=24 Hゲレンデ駅 展望度=よい 三角点名=御岳山 等級=一等 距離=500Km			
<b>厳しい山なれど新雪に痺れる</b>			
コース とタイム	起床4:30—御岳ロープウェイ・鹿瀬駅発6:00—飯森8:00—金剛堂脇—標高約2600m10:00—滑降開始10:15—金剛堂脇—ゲレンデ—鹿瀬駅11:15		
標高差	上り・・・鹿瀬駅約1600m~2600mまで=約1000m 下り・・・		
参加者	L 後藤隆徳、山本佳樹=2名		



日本列島を年末年始から厳しい寒気が覆い、各地に大雪をもたらしていた。当然、降雪が続けば天気も不安定で高山は厳しい状況になる。

山岳スキーの場合、ガスされるとスキーにならない。雪があつてなおかつ晴天率が高い山域を選ぶことが山行成功のポイントになる。

今年は白馬方面の柵池で4m、上越の谷川方面も3mの豪雪。雪量が多いのに越したことはないが、結局、今回は比較的晴天が期待出来る御岳山に決定。また、早朝発も翌日体が使いものにならないので、ノンビリ・ユックリ、午後のスタートとした。

車中泊し早朝起床。ロープウェイは8:30運行なので、ゲレンデをシールで上る。まだ真っ暗でヘッドランプが左右に揺れる。ゲレンデ整備の圧雪車が時々ゴォーと走る。クレーム覚悟だったが、ここはうるさい事は言わなかった。天気は静かな雪が昨夜から降り続けている。

ロープウェイなら10分を2時間掛った。それでも30分と料金を稼げた。飯森から樹林帯に入る。当然、ラッセルなど皆無で雪は深い。山本にもガンガン行って貰う。森林限界からはサイコーの斜面が広がっていた。

左の尾根に金剛堂が見えた。尾根は2600mで沢状に変わり、2700m付近で金剛堂の尾根に消える。

ここの尾根は強風で雪が飛ばされスキーにはならない。雪も降り続き登頂は断念し、ここから滑降に移る。

いい斜面程スキーは早い。上り4時間を1時間で飛ばし鹿瀬駅着。満足するサイコーのスキーだった。





ラッセルは深い



新・深雪を飛ばす

